

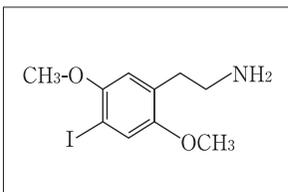
39. 違法ドラッグ(いわゆる脱法ドラッグ)について

「脱法ドラッグ」とは、麻薬や覚せい剤と同様の多幸感や快感等を高める目的で使用される化学物質や植物の総称である。麻薬や覚せい剤等とは異なり、法律で所持や使用、譲渡等が禁止されておらず、「法の規制の間をすり抜けた薬物」という意味だが、法律的な定義はない。以前は「合法ドラッグ」と呼んでいたが、安全性が保証されているような誤認を与える不適切な表現であり、「脱法ドラッグ」と呼ばれるようになった。

使用形態は経口、塗布、噴霧、吸引等で、用途を偽って研究用試薬、お香、アロマ（芳香剤）、植物標本、ビデオクリーナー等と詐称して広告販売されている（図1）。

2C-I
(Product NO.015)

Name : 2C- I : 2,5-dimethoxy-4-iodophenethylamine
Purity : 99.+%
Formula : C₁₀H₁₄NO₂I
Color : White
Stock : ◎



| | | | | | |
|-------|----------|---------|-----------|--------|--|
| Price | 100mg | ¥2,000 | | | |
| (税込) | 500mg | ¥6,500 | ⇒100mgあたり | ¥1,300 | |
| | 1,000mg | ¥8,600 | ⇒100mgあたり | ¥860 | |
| | 5,000mg | ¥42,000 | ⇒100mgあたり | ¥840 | |
| | 10,000mg | ¥82,000 | ⇒100mgあたり | ¥820 | |

注) 2C-Iは2007年12月19日付で麻薬に指定された（2008年1月18日施行）。

図1 研究用試薬と偽ってインターネットで販売されていた例

インターネットによるネットショッピング等により容易に入手が可能で、若者を中心に使用が広がっている。現在、乱用や犯罪での使用が社会問題となっており、法規制による取締りが強化されている（表1）。

〔違法ドラッグの規制〕

「脱法ドラッグ」は、使用目的に係る標榜ぶり如何に関わらず、事実上、経口、吸入、塗布等、人体への摂取を目的として販売されていると判断される場合には、薬事法上の無承認無許可医薬品に該当すると考えられる。

厚生労働省は指導取締りを強化し、これまでに「脱法ドラッグ」として流通していたものを麻薬に指定する等の措置を講じ取締ってきた（厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課長通知「いわゆる脱法ドラッグ」に対する指導取締りの強化について」：2005年2月25日付 薬食監麻発第0225001号）。

さらに2005年2月「脱法ドラッグ対策のあり方に関する検討会」を設置し、同年11月25日にまとめられた提言により、薬事法改正が行われることとなった。なお検討会では、「脱法ドラッグ」という呼称は法の規制が及ばないかのような誤解を与えることから、「違法ドラッグ」という言葉を使用し、「麻薬または向精神薬には指定されておらず、麻薬または向精神薬と類似の有害性を有することが疑われる物質（人為的に合成されたもの、天然およびそれに由来するものを含む）であって、専ら人に乱用させることを目的として製造、販売等がされるもの」と定義している。

2006年6月14日に公布された改正薬事法により（2007年4月1日施行）、中枢神経系の興奮もしくは抑制または幻覚を有する蓋然性が高く、かつ人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生する恐れが認められているものは「指定薬物」に指定され（薬事法第2条）、医療・産業用などの一定の用途に供する場合を除いて製造・輸入・販売等の禁止、広告の制限、検査命令や回収・廃棄命令等が行われることとなった（薬事法第76条の4～第77条）。

表1 違法ドラッグから検出された主な成分と有害作用

| 分類 | 成分（別名，通称名） | 特 徴 | 主な有害作用 | 法規制等 |
|------------------------|---|--|--|----------------------------------|
| 幻覚性アンフェタミン類（フェネチルアミン類） | MDMA (エクスタシー, X, アダム) | 興奮作用を持つ 覚せい剤と幻覚 作用を持つメス カリンの両方と 構造が酷似して いるため，興奮 作用と幻覚作用 を併せ持つ | 幻覚，興奮，傾眠，妄想， 血圧上昇，脳浮腫，振戦， 不眠 | 麻薬 |
| | MDEA (イブ) | | | |
| | MBDB | | 麻薬 | |
| | メチロン | | 多幸福感，幻覚，吐き気 作用はMDMAの2倍 | 麻薬 解熱鎮痛薬のメチロン (スルピリン)とは異なる |
| | 2C-B (パフォーマックス) | | 幻覚，興奮 作用はMDMAの5倍，メ スカリンの35倍 | 麻薬 |
| | 2C-I | | 幻覚，興奮，強烈な吐き気， 頭痛，排尿困難 | 麻薬 |
| | 2C-T-2 (ディープトリッパー，ホ ワイトラブ) | | 麻薬 経口製品は医薬品に該 当 | |
| | 2C-T-7 | | 麻薬 | |
| | PMMA | | 多幸福感，幻覚，不安，不眠 | 指定薬物 |
| TMA-2 | 幻覚，興奮，妄想 | 麻薬 | | |
| 幻覚性トリプタミン類 | AMT (ダイトリッパー) | セロトニン作用 | 幻覚，嘔吐，呼吸障害，運 動失調，昏睡，精神分裂 | 麻薬 |
| | 5-MeO-AMT | | | 指定薬物 |
| | 5-MeO-DIPT (フォクシー，ゴメオ，フ ォクシーメトキシ) | | 幻覚，悪心，嘔吐，頭痛， 興奮，頻尿，血圧上昇，意 識障害，視覚・聴覚異常 肛門弛緩作用があり，男性 同性愛者間で流行 | 麻薬 |
| | 5-MeO-MIPT (ミプティ，ミプティキューブ) | | 幻覚，嘔気，視覚・聴覚異 常 | 指定薬物 |
| 幻覚きのこ | サイロシン，サイロシビン (マジックマッシュルーム) | | 幻覚，興奮，悪心，嘔吐， 頻脈，震え | 麻薬原料植物 麻薬として取り扱われる |
| | ベニテングダケ抽出物 (セブンスヘブン) | 幻覚成分はイボ テン酸が分解し たムシモール | 幻覚，精神錯乱，筋肉の痙 攣，視覚・聴覚異常，悪心， 意識障害 | |
| 幻覚サボテン | メスカリン (ペヨーテ) | | 幻覚，幻聴，妄想，瞳孔散 大 | 麻薬 |
| GHB類 | ガンマヒドロキシ酪酸 (GHB, G, 液体エクスタ シー) | GHBは脳内で GABA (γアミ ノ酪酸) として 作用 GBL, BDは体 内でGHBに変化 | 嘔吐，低呼吸，徐脈，妄想， 意識消失，昏睡 死亡例あり GHBは成長ホルモンの分 泌を促進して筋肉の発育を 増進させ，筋肉増強剤とし ても使用 別名：date rape drug | 麻薬 |
| | ガンマブチロラクトン (GBL) | | | 経口製品は医薬品に該 当 |
| | 1.4-ブタンジオール (1.4-BD, BD) | | 嘔吐，意識消失，昏睡，呼 吸障害 | 経口製品は医薬品に該 当 |

| 分類 | 成分（別名，通称名） | 特 徴 | 主な有害作用 | 法規制等 |
|--------------------------|------------------------------------|--|--|---|
| 亜硝酸エステル類 | 亜硝酸イソブチル （ラッシュユ，ロツカールーム） | 極めて引火しやすい | 脳貧血，めまい，血圧低下，頻脈，心悸亢進，メトヘモグロビン血症，尿失禁 大量吸入で呼吸障害を起こし致死的 皮膚接触により，ただれ等の皮膚症状 勃起不全治療薬（バイアグラ TM 等）との併用により急激な血圧低下の危険性 | 指定薬物 化学工業原料 経口製品は医薬品に該当 |
| | 亜硝酸イソアミル （亜硝酸アミル） | | | 指定薬物 医薬品は劇薬 |
| その他の | マオウ | 交感神経興奮作用 | 不眠，神経興奮，血圧上昇，頭痛，幻覚，不整脈，心停止 | 地上茎の経口製品は医薬品に該当 |
| | 塩酸エフェドリン | | | 経口製品は医薬品に該当 1個中に25mgを超えるものは劇薬，10%を超えるものは覚せい剤原料 |
| | 塩酸フェニルプロパノールアミン （PPA） | | | 経口製品は医薬品に該当 50%を超えるものは覚せい剤原料 |
| | ヨヒンベ，塩酸ヨヒンビン （One Night Heaven） | | 発汗，吐き気，嘔吐，痙攣，呼吸麻痺 | 経口製品は医薬品に該当 医薬品は劇薬 |
| | リドカイン | | 重大な副作用としてショック，悪性高熱，振戦，痙攣，心電図異常 その他に眠気，不安，興奮 | 医薬品は劇薬 |
| | 臭化水素酸デキストロメトルファン | NMDA（N-メチル-D-アスパラギン酸）受容体拮抗薬 | 不眠，悪心・嘔吐，頭痛，めまい，口渇，痙攣，精神錯乱，意識消失 米国で死亡例あり | 経口製品は医薬品に該当 1個中25mgまたは1日量中50mgを超えるものは劇薬 |
| ケタミン （K，スペシャルK，スーパーK） | | 幻覚，麻酔，朦朧，記憶喪失 幻覚剤フェンシクリジン（PCP）と類似構造 | 医薬品は劇薬，麻薬 | |
| ピペラジン類 | BZP | セロトニン作用 | 頭痛，震え，口渇，不眠など不安を伴う精神症状 | 麻薬 |
| | TFMPP | | | 麻薬 |
| | 3CPP | | | 麻薬 |

(2007年12月現在)

〔文献〕

厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課長通知：薬食監麻発第 0225001号，平成17年 2月25日。

東京都福祉保険局ホームページ <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/yakuji/kansi/datudora/top.html>

日薬情報No.166：日本薬剤師会雑誌 58（5）：533，2006。

新薬事法研究会：よくわかる改正薬事法-医薬品販売制度改革編-，薬事日報社，2006。

秋篠邦治ら：試薬会誌 21：31，2007。

小島 尚ら：モダンメディア 52（4）：99，2006，中毒研究 20（4）：305，2007。

清田和也：中毒研究 17：259，2004。

阿部朋弘：都薬雑誌 26（6）：26，2004。

柳田知司：KNOW News Letter 第54号：3，2000，12。

日経新聞，2005年 9月23日。

日刊薬業，2005年 9月26日。